

留学生 富山で街歩き

3月 案内はマレーシア出身・富大生

外国人観光客も目立つ富山市中心部の魅力を留学生に知ってもらおうと、3月末、街歩きイベントが行われる。訪日外国人の中にはムスリム(イスラム教徒)も多く、イベントではNPO法人「まちづくりスボット・まちスポとやま」(同市)のサブ・コーディネーターで、富大留学生アハド・ブスタマンさん(22)＝マレーシア出身＝が案内役を務める。

NPOムスリム文化体験も

イベントではブスタマン「川沿いなど富山市中心部をさんの解説を聞きながら松歩き、まずずしの食べ比べ



ムスリムについて学ぶ勉強会＝富山市内

などを楽しむ。留学生に富山のまちなかの魅力を再認識し、参加者同士の親睦を深めてもらう。

まちスポとやまは新年度、ムスリム文化を体験できるワークショップや、留学生行きつけの飲食店をまとめたマップづくりを企画している。

24日はブスタマンさんの母国で広く信仰されているイスラム教に理解を深めようと、勉強会が開かれた。飛騨高山ムスリムフレンドリープロジェクト(岐阜県)代表の清水大地さんが、ムスリムの観光客へのおもてなしについて説明した。

清水さんは、ムスリムが食べることができるアルコールや豚肉を使わない料理やムスリム向けの飲食店をまとめたマップを紹介し

た。
ブスタマンさんはイスラム教の礼拝堂「モスク」や
聖典「コーラン」、マレーシアの祭りや日本とのカルンダーの違いを説明した。